

リニア事業に更なる難関が襲う？

先日、新聞各紙に次のような記事が掲載されていた。

「三菱重工、リニア車両製造から撤退へ！！」

リニア事業に真っ向から反対の立場の私たちは、この記事を見るなり不謹慎にも心が躍る気持ちになってしまった。何故ならばそれは「リニア中央新幹線を中止に追い込む」にはまだ間に合うし、何よりも3兆円もの財投を受ける負い目からくる国民への償いの気持ちがそうさせるのである。従ってこのニュースはJR東海に、後世への「負の遺産でしかないリニア事業」を断念させるがための朗報というべきものである。

(但し現時点でも、沿線住民を軽視する姿勢や工事強士の行き場すら未解決である以上、いずれ工事は立ち行かなくなることは明白。まるで財政破綻を顧みず大規模金融緩和をくり返す安倍政権のアホノミクスと酷似している?)

さてこの朗報に対して、JR東海でこの事業を推進する人たちは、社内誌で社員をどのようにコントロールするのだろうか？新聞紙上では「影響があるともないとも言えない」と割と脳天気なのだが？実際本音でトークして、老害葛西名誉会長の逆鱗に触れてみるのも妙案かもしれない。だってリニアは絶対ペイしないのだから至って常識だ？

【中津川にリニア新幹線が訪れる日はくるのか？】

三菱重工がリニア車両製造から撤退



2027年品川-名古屋間を開業予定のリニア中央新幹線を巡り、試験開発を手がけていた三菱重工が、リニア車両の製造事業を打ち切ることを固めた模様だ、JR東海と製造コスト面で折り合いがつかず、車両の量産には入らないという。

三菱重工は航空機部品の軽量化技術などを活かし、試験開発の開発に参加。山梨県で試験走行している「L0系」の試験車両のうち先頭車2両を開発、製造した。同社はこれまでに新幹線など高速鉄道の開発を経験していなかったが、リニアで巻き返す狙いだった。(試験車両の中間車両は、日本車両が製造)

JR東海の担当者は「当社として把握していない」としながらも、2027年の開業には「現時点では車両の製造が決まっていないので影響があるともないとも言えない」と話している。

(マスコミ各社の報道の要旨)